

# とやま 輝く!! 富(む)山の仕事人!!

川上～川下まで、森林・木材に関わる様々な分野で頑張る人を紹介します。

FOREST (砺波市) 森田 峰生さん

今回ご紹介する方は、FOREST(認定林業事業体)の森田峰生さんです。

## 1 これまでの功績

森田さんは、平成6年より森林組合の作業班員として主に治山事業の施工に精力的に携わり、さらには作業班長として森林整備事業の遂行に尽くし、その豊富な経験を生かすべく、平成25年に事業体を立ち上げられました。会社の代表として林業の発展に対する強い使命感をもって、現在も森林組合等の事業を請け負い、森林作業道の開設、間伐・更新伐、屋敷林の伐採など様々な現場でご活躍されています。それらの功績が認められ、平成30年に産業経済功労者に表彰されるなど、数々の功績を残しておられます。



森田 峰生さん

## 2 モットーは「山の神様を大事にする」

森田さんは、お父様が長年原木しいただけのお仕事をされていたこともあって森林組合に

入られたそうですが、元々森林が好きで自然の中で働く林業に就業されました。「山の中で働き汗を流し腹が減って、そして山の中で食べる美味い」とのことです。また、森田さんのモットーは「山の神様を大事にする」こと。お父様からよく言われてきたそうです。ちなみに、今回取材した伐採現場内にお宮さんがあり、御神木を伐採する際は、少しずつ伐らなければいけない。一部切り込んだら一日置くを繰り返すんだと教えて下さいました。

## 3 薪の生産も

この様に、自然の恵みに感謝し大切に心が、仕事に対する熱意に繋がっていると感じました。

会社では3年程前から薪の生産もされており、沢山の薪が積まれています。「始めた当初は赤字だったけど、最近は顧客も増えてきた」と忙しいそうです。薪ストーブ関係のネットワークも広く、若い人向けにチェーンソーの扱い方の講習会開催を現在企画中のことです。



## 4 今後について

最後に、今後の林業についてのご意見を伺ったところ、「昔に比べて機械化が進み作業的には楽になったが、経営的にはもっと利益を上げたい」と話していただきました。

森田さんはお仕事の傍ら砺波地区林業研究グループ協議会会長として活躍中。活動の一環として、会社の敷地にある手作りピザ窯でピザ教室を開いたことも。そんな人情味あふれる森田さんのまわりには、取材中も笑顔がいっぱいでした。若手作業員の指導育成にも注力され、多方面で精力的にご尽力されている森田さんの益々のご活躍をお祈りします。



文責 砺波農林振興センター森林整備課林政・普及班